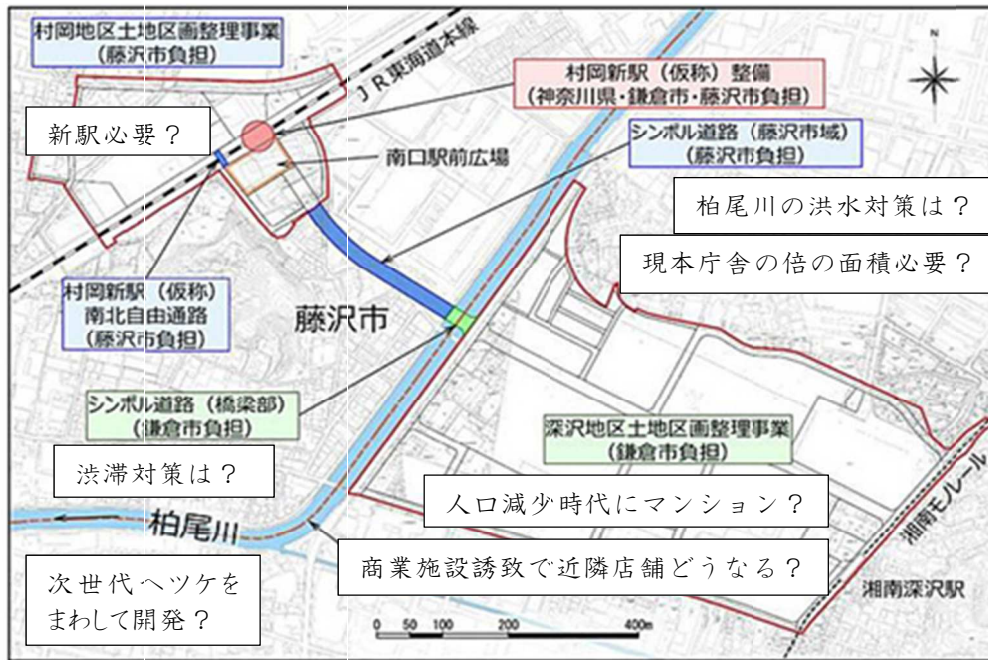


◆4月の市議会議員選挙の最大争点…現計画はバブル期の発想ではない



※選挙で開発反対派を選べば止められる…今年は市議会・市長選挙の年！

人口減少、少子高齢化、空き家急増、気候非常事態、コロナ禍の中、現計画のような大型開発をやる事が正しい選択でしょうか？。鎌倉の未来に大きなツケを残す事になると私は考えます。災害対応の為転用できる土地確保も必要。

※深沢地域整備事業長嶋の提案…富士山の景観活かした憩いのオアシス！

防災、スポーツ、第一次産業、食、市場、健康福祉、ごみ処理などがテーマ。防災公園、遊水地、外周散策コース、グラウンド、野球場、テニスコート、芝生広場、農園果樹園、フラワーパーク、保険福祉センター、ごみ処理施設でエネルギー回収(温浴施設・プール、うなぎ・ふぐ養殖、農園果樹園等)、大学誘致。→財源確保の為に笛田公園等、関連既存施設は移転を検討。

※事例…プラター公園(ウィーン)、天王寺公園、平塚総合公園、境川遊水池公園

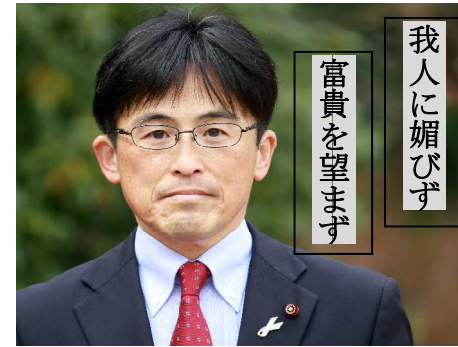
◎本庁舎はどうする…まずは長期延命化をはかりどうあるべきかの議論をする！

人口減少超高齢化、情報通信・AIが発達する状況で今の倍の面積必要？

- 1,分散化(コンビニ等の空き店舗や自治会館を活用した小さな分庁舎を設置) ⇒日時を決めて職員が各分庁舎を巡回して相談にのる。毎日居る必要無し。
- 2,大船・鎌倉二拠点化(東口横の土地再開発に合わせて駅直結で設置)
- 3,現地建て替え(3階建てで延べ床面積 17,000 m<sup>2</sup>程度の施設は建設可能)

129号3期目30号(2月号)

鎌倉市議会議員・長嶋竜弘



稲村ヶ崎小学校⇒御成中学校⇒茅ヶ崎高校⇒和光大学  
さいかや、東急ハンズ、西友、道の駅などで勤務。自転車整備士

※個人メール  
kamakurasi@gmail.com  
※住所〒248-0023 鎌倉市  
極楽寺 2-6-10-201 在住

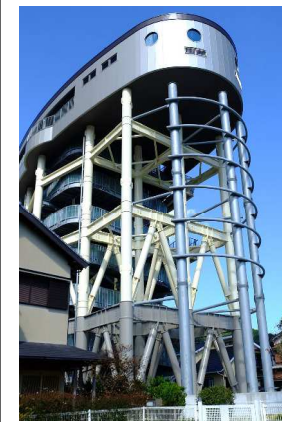
◆津波対策…避難タワー？避難シェルター？どちらが実現可能か？

2018年高知県黒潮町津波避難タワーを市議会総務常任委員会視察で見ました。

避難フロア高さ22m、広さ233 m<sup>2</sup>(230名収容) 階段140段、スロープ240m、想定浸水深18m 費用は5億9千万円(国県の補助金活用) ⇒確かに素晴らしい施設ですが鎌倉でできる？

- ・必要性のある場所に土地があるのか？
- ・公共用地が無い場合土地の購入が必要。
- ・景観等の近隣住民合意が必要。
- ・地盤の違いで費用は大幅に違ってくる。
- ・鎌倉市単独で予算措置して複数建設は無理。

⇒津波浸水想定が小さな地震の対応なら、もう少し小規模施設で済むので建設可能だと思われませんが、費用対効果は薄いと考えます。



↓↓↓ではどうする？

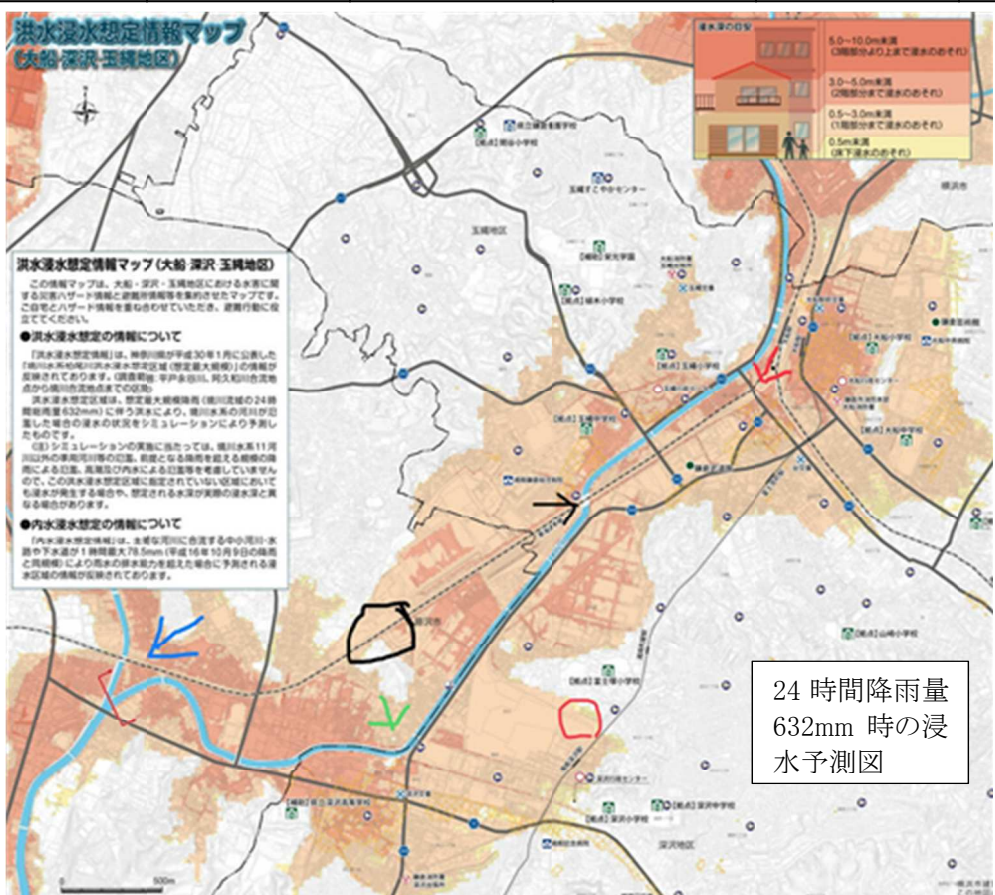
先日株式会社光レジン工業さんの、津波シェルター“CL-HIKARI”(ヒカリ)の見学をさせて頂きました(工場厚木)  
・FRP製、耐荷重強度30トン  
・幅1740、奥行900、高さ1000ミリ  
・定員4名、80万円(税/配送料別)  
・自動スイング機能で水上では基本的にハッチが上部になる。



他社で定員20名の物もあります。津波シェルターならすぐ導入可能。

◆ **水害増加の要因は気候変動…1人の100歩より100人の1歩!**

気候変動により「**地球環境は非常事態**」です。2019年の台風被害・異常な猛暑、この冬の大雪からも危機的になっているのがわかります。右記の水害対策はあくまで対処療法で根本治療ではありません。我々人類は今日覚めて根本治療に向かわなければなりません。しかし、**日本人の大人の認識は低く、世界からは非難の目が向けられているのが実態です。できる事を今日から始めよう。**



↑ 地図の、**○印**-鎌倉市役所本庁舎予定地、**○印**-村岡新駅予定地

📍 **特に危険な場所は?**

**赤矢印** → 梅田川、小袋谷川合流地点

**黒矢印** → 山崎川合流地点、JRガード下は川幅狭まり蛇行

**緑矢印** → 新川、梶原川合流地点、**青矢印** → 境川合流地点

**その他** → 町屋川合流地点、(大塚川、片岡川、手広川、笛田川)合流地点、砂押川合流地点、など

河川以外の  
雨水幹線も  
網の目のよ  
うにある。

◆ **柏尾川、大船から深沢の洪水浸水について…左図面参照ください**

過去、柏尾川は暴れ川として有名で幾度も水害を起こして来ましたが、整備が進みかなり被害は無くなりましたが、近年の気候変動により再び水害のリスクが増大しています。そこで様々検証した上で対策を考えてみました。

👉 JR 東海道線は藤沢～東戸塚の駅間はほぼ全線浸水エリア。

👉 支流が沢山あり、雨水幹線も網の目のようにはりめぐらされており、至る所でバックウォーターや内水氾濫が発生する可能性があります。

📍 **現在洪水浸水対策はどんなものがある?**

詳細はブログをご覧ください⇒



11/25blog

1. 柏尾川河川改修事業(県が様々実施中)
2. 境川水系河川整備計画(神奈川県, 東京都, 横浜市で計画)
3. 金井遊水地の拡大が予定されている(神奈川県が実施)

■ **私が考えた対策** ⇒ 神奈川県が主体ですが提案が必要

① **遊水地の設置**

②と③は滑川、神戸川など他の河川にも有効です

👉 深沢地域整備事業用地、旧引き込み線の線路跡地、山崎浄化センター等が候補(松中けんじ議員と、境川遊水池、金井遊水池、大庭遊水池、下土棚遊水池の視察に行って様々検証しています)

② **雨水貯留施設(各戸)、雨水地下貯留施設、雨水貯留浸透施設等設置**

👉 各戸は補助金などで設置を促す👉 地下施設はグラウンド、駐車場、公園等

③ **河道の再整備…浚渫(しゅんせつ)工事がすぐできて効果の高い対策。**

👉 河道浚渫(掘削)、堤防嵩上げ、河道拡幅など基本的な整備を再度実施。

④ **県道 304 号大船腰越線の嵩上げ**

👉 古館橋～三菱電機辺りの部分で低い部分の改善。

◆ **倒木土砂崩れ…貴方の土地は大丈夫?**

- ・まず土地所有者が誰か? 確認が必要。
- ・公有地は行政側による対応を実行。
- ・私有地は行政から地主へ是正指導を行う。

⇒ **工事資金助成制度活用**(工事費の1/2)

- がけ防災工事限度額 250 万円
- 樹木伐採工事限度額 60 万円

↓ **危険だな?と思ったら市役所へ**

📍 **総合防災課**がけ地対策担当  
電話 0467-23-3000 内線 2285

**市役所は言わないと何もしません、是非皆様で動いて下さい。**

